

「瑞穂小だより」

令和7年1月22日
令和6年度 第22号 電子
伊丹市立瑞穂小学校 校長室

＜学校教育目標＞『「いのち」かがやく 瑞穂の子 ～心豊かに たくましく～』
－あしたも来たいと思える学校－

希望の春へ試練に負けない心も磨いています

まとめの3学期がスタートして約2週間が過ぎました。
瑞穂の子は「まいにち・ともだちと・めあて」にチャレンジ中です。

地震対応の避難訓練 1月17日

30年前のこの日に阪神・淡路大震災が発生しました。この教訓を活かし、尊い生命を守るために避難訓練を行いました。

地震はいつ起こるのかが分かりません。そこで、今回の訓練は、日時を子どもたちには秘密に行いました。

子どもたちは、地震発生の連絡があると、運動場の人は座り、教室の人は机の下等に素早く入りました。

揺れがおさまった後、先生が階段等の安全を確認。その後、それぞれの場所から運動場に集合。子どもたちが真剣にそして整然と避難している姿は立派でした。



避難後に「黙祷」を捧げました。阪神淡路大震災や東日本大震災・能登半島地震で被災された方のご冥福、そして、みんなの命を大切にする心を学び、地震や災害に負けない人になっていきますとの誓いも込めました。「自分にできることをしよう」と思えた人がたくさんいました。

この日の給食は、非常時の食について考える「防災献立」でした。

長期保存できるアルファ米を使った「トマトリゾット」、備蓄品としても活用できる「ささみ」（レトルトタイプ）、ドライ大豆、切り干し大根を使ったマリネ、昔から保存食として重宝されてきた「乾パン」です。

子どもたちは、いつもと少し違う給食をしっかりと食べていました。私は、被災地の方へ、水や保存しやすい食べ物等を届けたり、温かい炊き出しをしたりしたことも思い出しました。



「宮城県の南三陸町立戸倉小学校との交流活動」

1月21日(火) オンラインで交流しました

本校は、東日本大震災で被災された宮城県の南三陸町立戸倉小学校との交流を続けています。本校からは、ふれあい祭りの東北支援活動で集まった真心や子どもたちのお手紙等も届けてきました。

子どもたちは直接会いたいと願っていますが、さすがに難しいので、児童会中心でオンライン交流をしています。画面に双方の様子が映し出されると歓声と笑顔が広がりました。自校紹介やクイズなどで交流しました。新たな発見があり、次の交流への期待も膨らみました。

本校は災害支援に直接携わるご家庭が多い地域でもあります。今私たちができる活動を通して、将来につながる生きた防災教育を目指して取り組んでいきます。



1月25日(土)はオープンスクールです (1/27 月曜は代休日)

2校時	9:30~10:15	授業参観
ふれあいタイム	10:15~10:30	休み時間
3校時	10:30~11:15	授業参観

・子どもたちは4校時まで授業を行い、12:15頃に下校します

- ・「令和6年度 来校者証」を事前に発行しています。ご持参ください。
- ・この日の学習する教科や内容は、別に配布したお手紙を参照してください。
- ・上履きのご持参、名札の着用をお願いします。
- ・車での来校はご遠慮ください。学校周辺は駐車禁止となっています。
- ・徒歩での来校にご協力願います。やむを得ず自転車でお越しの際は、十分なスペースは設けられていませんが、校内の特設駐輪場をご利用ください。

※児童が集中して学習できるよう、動画や写真等の撮影の禁止と参観中の私語は控えていただくよう、ご理解とご協力をお願いします。

「人権授業参観」も行います ご参観をお待ちしています ～「違いを良さととらえ、平和への第一歩」を目指して～

今年の人権授業参観は、「**国際理解**」がテーマです。

冬休み中に「子どもの権利条約」をご家庭で読んでいただきたいとお願いしました。これには、世界の子どもが「幸せに暮らせるように」と願いを込め、特に大切にしたい「4つの権利」である「生きる権利」・「育つ権利」・「守られる権利」・「参加する権利」などが書かれています。この4つの権利は、皆さん一人一人にあります。そして、周りの方にもあります。お互いに守り合うことが大切だと思います。

今回の授業参観では「**守られる権利**」の中で「**自分と違ういろいろな人や国**」について学習します。また、自分と違うことから起こりそうな「**差別することは許さない心**」を学びます。

国際化が進む中で、私たちの地域でも、いろいろな国の方々もおられるようになってきました。お互いの文化や習慣等を理解し合うことも大切だと感じています。

世界には、いろいろな人が住んでいます。生活の仕方や考え方などが違う人もいます。自分の周りにいる考えの違う人とも仲良くできる心を磨いていきたいと願っています。

国際的な人権課題の一つに国と国の意見の違い等から起こってしまう戦争等もあります。

8月6日、私は、広島市の「平和を誓う記念式典」をテレビを見て、黙祷も捧げました。

この式典では、広島市の小学生2人が「平和への誓い」を発表していました。

その中で、次のような内容がありました。

願うだけでは、平和はおとずれません。
色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。
一人一人が相手の話をよく聞くこと。
「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。
仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。
私たちにもできる平和への第一歩です。

人権学習は、何か難しそうで、自分とはあまり関係がないように感じて、心が少し引いてしまうことも、私にはありました。ただ、私は、学び続ける中で、『**相手の気持ちを考え、行動できる、それが差別をなくすことにつながる**』と思うようになりました。

今回の人権教育参観が、「**みんなが笑顔になる！幸せな社会になる！第一歩！！**」になるように願っています。皆様のご参観をお待ちしています。